

	テーマ1：関連する国際的な動向	テーマ2：日本企業の取組状況
作業部会 にお願い する事項	<p>① 諸外国の行動計画についての議論</p> <p>諸外国の行動計画の概要を把握した上で、意義や特徴を整理する。</p> <p>【基礎情報（提供資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国の行動計画の概要 <p>【議論の視点の一例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国の行動計画の目的や背景にある戦略は何か。 ・ 具体的にどのような目標が設定されているか。 ・ 諸外国の国内各界の反応はどのようなものか。 ・ 各国の行動計画で盛り込まれている特徴的な要素は何か ・ 我が国が行動計画を実施していく上で、参考にすべき点は何か。等 	<p>●日本企業による人権尊重の取組について、現状、課題、好事例を整理する。</p> <p>【基礎情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業へのヒアリング実施 <p>【議論の視点の一例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業が求められる3つのプロセス（※）について、取組が進んでいる点、遅れている点等、具体的な取組状況。 ・ 上記の諸点を進める上で企業が直面している課題。 ・ 上記の議論で特定される課題を解決するにはどうすればよいか。 ・ 他の企業にも活用可能な好事例として、どのようなものがあるか。 ・ 企業規模、業種、海外顧客の多寡等で、上記の諸点に特有の特徴があるか。等 <p>※①人権方針の策定、②人権デュー・ディリジェンス実施、③救済制度の整備</p>
	<p>② 諸外国の企業による人権尊重の取組についての議論</p> <p>【基礎情報（提供資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外企業の事例 <p>【議論の視点】</p> <p>「海外企業は、政府とどのように連携して人権尊重（※）を行っているか」という点について事例整理を行い、政府に情報提供する。</p> <p>※①人権方針の策定、②人権デュー・ディリジェンス実施、③救済制度の整備</p>	

【成果品】

作業部会：上記の議論結果を簡易報告書の形でまとめる。円卓会議での確認を経て、関係府省庁会議に提出。